

一般質問 門田 淳 議員

## 子育て支援策拡充に対する町の考えは

町長 各種施策を検討・調整し、取り進めていきたい



問

- ① 子育て世代へのインフルエンザワクチン接種の助成制度を。
- ② 高校生までの医療費の無料化に向けて。対象者を絞りながら段階的に無料化に向けての拡充。
- ③ 幼児保育の質の向上を乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期であり、また保育事故の防止の面からも、保育士確保や臨時保育士等の処遇改善をしながら、幼児保育の質の向上を目指すべき。
- ④ 放課後児童クラブの受け入れ体制の充実・拡充へ。
- ⑤ さまざまな計画を実行・運営できる体制づくりを。
- ⑥ ふるさと納税事業の使い道事業を具体的に活用し、子育て支援拡充を。



町長

- ① 費用助成を実施した場合、ワクチンの確保、接種手続、各病院との協議、予算の確保などを図る必要がある、加えて今後新たな定期接種実施の検討が国でなされており、そういった動向も踏まえて注視し対応していきたい。
- ② 既に18歳まで助成している市町村は、全道179市町村中68市町村、うち入院のみが3市町村となっている。本町の保健福祉施策の検証並びに財源と実績を見極めながら検討していく。
- ③ 処遇改善に関しては、働き方改革により法整備がされたことから、今後の制度設計の中で適切に対応していく。また、保育の質の向上を目指し、日々の職務に当たっており引き続き努力をしていく。
- ④ 南児童館の施設内整備をして、支援員の拡大により人員の配置ができる体制が整い次第、児童クラブとして機能させ、6年生まで受け入れが可能。
- ⑤ 非正規職員の待遇面の見直しに関しては、今後、各任用部署から聞き取りや調整を行い、制度設計を実施していき、適正な人員配置を行い、よりよい体制づくりに努める。
- ⑥ 子育て支援に関する使い道ができる限り具体的にわかりやすく例示し、少しでも寄附をいただけるよう工夫していく。

## 無電柱化について

問

- ① 工事区画と工事期間。
- ② 地元負担はあるのか。
- ③ これからの課題や問題点は。

町長

- ① 工事区間は、一つに道道蘭越ニセコ倶知安線の延長約2・1キロメートル、町道岩尾別南三線の延長約0・3キロメートルについての無電柱化の検討を行っている。工事期間は、10月に開催されるG20までの完了を目指し検討、調整を行っている。
- ② 北海道にて事業を行うため、倶知安町として特段の負担は求められていない。場所によっては、水道管や下水道管などの埋設物が支障物件として移転を行う必要が発生する場合は、移転に伴う経費は発生すると考えている。
- ③ 工事中の通行規制など、これから早期に検討調整し、関係者で協力して課題をクリアしていかなければならないと考えている。



南児童館